



すべては紫竹の  
子どもたちのために

令和7年度2月 R8. 2. 2

京都市立紫竹小学校

校長 福間 拓

〒603-8422 京都市北区紫竹下園生町 26 番地

Tel 4 9 1 - 6 0 0 5 Fax 4 9 1 - 6 1 2 5

<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=100809>

紫竹小学校 学校教育目標

「自ら考え、判断し、共に生きる子どもの育成」



## 「節分」の時期に思うこと～「鬼は外」の鬼とは～



校内では1月29日の「音楽発表会」に向けて、合唱や合奏の歌声や楽器の音色が響いています。子どもたちは、みんなで歌ったり、演奏したりする面白さを実感しながら励んでいます。皆様におかれましては、日頃より紫竹校の教育活動に多大なご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

『1月はいく、2月はにげる、3月はさる』という言葉の通り、あっという間に1月が過ぎて行きました。さて、2月3日は『節分』です。節分はその字の通り季節の分かれ目のことです。翌2月4日は『立春』です。この頃は1年で一番寒さの厳しい時期ですが、暦の上でも、日差しの様子からも、木々の芽吹きなどからも季節は確実に春に向かって行きます。

今年の冬は寒波の居すわりなどがあり厳しい冬の気候だそうです。ここ紫竹学区でも何回か雪が降りました。京都市内では今のところ大きな影響がなく、冬らしさを感じられるのですが、全国的にみると長時間の降雪や低温になり交通や日常生活に影響が出たり、冬の野菜の収穫がうまくできなかつたりする地域が多くでました。そのような中、私は雪を見ると、様々な角度から物事を見つめ、人を思いやることのできる詩人、金子みすゞさんの『つもった雪』の詩が頭に浮かんできます。



『つもった雪』 金子みすゞ

上の雪 さむかろな。

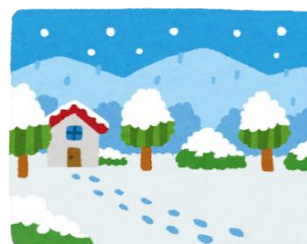
つめたい月がさしていて。

下の雪 重かろな。

何百人ものせていて。

中の雪 さみしかろな。

空も地面も見えないで。



さて、日本では昔から、節分に豆をまき、厄払いをするという伝統的な習わしがあります。豆をまく時に多くの地方では「鬼は外、福は内」と声をかけながら行います。外に出す「鬼」とは何でしょうか。調べてみると一般的には無病息災ということで、健康を害するものを「鬼」とするようですが、もう一つ、自分の心の中の「鬼」を退治するという意味もあるように思います。私にもあります「まあこれくらいならいいか…」「今日1日くらい…」という怠け心や気の緩みが心の『鬼』といえるのではないのでしょうか。

時間や月日は毎日変わらず流れていきますが、だからこそ人は昔から節目を大切にしているのではないのでしょうか。私たちも先人の知恵に学び、自分自身を振り返り、見つめることをしていきたいものです。私は、節分に豆まきをして自分自身を振り返り、もう一度気を引き締めて年度末を迎えていこうと思っています。

6年生は卒業まで30日あまりとなりました。6年生だけでなく、進級する各学年の子どもたちが、希望をもって明るく元気に進学、進級できるように、学年のまとめ、次に向かう準備を教職員一同で取り組んでいきたいと存じます。引き続き、紫竹校の子どもたちの豊かな成長のためにお力添えをいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

校長 福間 拓

# 2月 行事予定

2月より午後4時30分  
完全下校となります。

	曜	学校行事	保健関係	地域関係	まなび
1	日				
2	月				○
3	火				○
4	水	5年音楽鑑賞教室 PM			○
5	木	小さな巨匠展（～8日）	フッ化物洗口 （3・4・たいよう）		
6	金	4時間授業 13時20分完全下校 SC SSW 半日入学・入学説明会（物品販売）	フッ化物洗口 （1・2・5・6年）		
7	土				
8	日	京キッズRUN			
9	月				○
10	火	諸費振替日			○
11	水	建国記念の日			
12	木		フッ化物洗口 （3・4・たいよう）		
13	金	SC SSW 加茂川中体育服渡し 15:40～16:10（体育館）	フッ化物洗口 （1・2・5・6年）		○
14	土				
15	日				
16	月	クラブ活動			○
17	火	たてわり遊び ロング昼休み 6年京の匠（京友禅・京小紋）			○
18	水	委員会活動最終 育成学級合同科学センター学習			○
19	木		フッ化物洗口 （3・4・たいよう）		
20	金	SC SSW 代表委員会	フッ化物洗口 （1・2・5・6年）		○
21	土				
22	日				
23	月	天皇誕生日			
24	火	図工展前日準備 トイレ清掃			○
25	水	図工展（～27日） 参観・懇談（低） 放課後まなび教室3学期最終			○ 最終
26	木	図工展 参観・懇談（高・たいよう）	フッ化物洗口 （3・4・たいよう）		
27	金	図工展（12時まで）SC SSW 5時間授業 スキルアップデイ14:30完全下校	フッ化物洗口 （1・2・5・6年）		
28	土			紫竹 eco フェスタ	

## 3月の行事予定

2日（月）代表委員会  
3日（火）たてわり遊び ロング昼休み  
4日（水）6年生を送る会  
5日（木）育成合同お別れ会  
学校運営協議会18:00～  
11日（水）シェイクアウト訓練  
13日（金）加茂川中学校卒業証書授与式

19日（木）給食終了  
卒業証書授与式リハーサル  
完全下校 13時30分（1～4年）  
前日準備⑤（5年）  
23日（月）卒業証書授与式10時開式  
（1～5年生は自宅学習）  
24日（火）修了式 12時20分完全下校  
25日（水）～4月9日（木）春季休業  
30日（月）離任式  
4月10日（金）令和8年度始業式・入学式

# お知らせ

## 小さな巨匠展

小さな巨匠展は、京都市立小学校の育成学級児童による合同作品展です。本年度は、「京都市美術館別館」で行われ、美術・工芸・書道などの幅広い作品や、日頃の学習で造った作品、学級・支部の友達と相談して作った大型作品などが展示されます。本校たいよう学級の児童の作品も展示される予定です。開催期間は「2月5日～8日」です。

## 授業参観・懇談会・図工展

本年度最後の授業参観・学級懇談会を実施いたします。お忙しい中ですが、子どもたちの学習の様子をぜひご覧ください。

また、体育館では、子どもたちが図画工作で制作した作品を展示いたします。ぜひご来校ください。

### <授業参観・懇談会>

2月25日(水) 1・2・3年

参観: 午後1時45分～午後2時30分

懇談: 午後2時40分～午後3時30分

2月26日(木) 4・5・6年・たいよう学級

参観: 午後1時35分～午後2時20分

懇談: 午後2時30分～午後3時20分

### <図工展開催時間>

2月25日(水) 午前9時～午後5時

2月26日(木) 午前9時～午後5時

2月27日(金) 午前9時～午後0時

## 半日入学・入学説明会

令和8年度入学予定児童及び、その保護者の方を対象に下記の予定で半日入学・入学説明会を行います。下記とともに、就学時健康診断時にお渡しした案内をご確認いただき、お時間までに紫竹校にお越しください。当日の体育館は冷えることが予想されます。暖かくしてお越しください。

### 令和8年2月6日(金)・半日入学(1年教室)・入学説明会(体育館)

・受付開始: 午後1時45分

・半日入学: 午後2時～午後3時(お子様は学用品購入が終わるまで教室で待機します。)

・入学説明会: 午後2時～午後2時50分頃

・学用品購入: 入学説明会後～午後3時30分頃

・持ち物: 保護者・・・上履き 下靴を入れる袋 学用品等購入申し込み封筒

(代金はおつりのないように入れてください)

新1年生児童・・・上履き 下靴を入れる袋 ハンカチ ティッシュ

※在校生は13時20分完全下校とします。

3月分の給食費は下記ようになります。ご予定ください。

## 3月給食費

○1、2年生・・・2,550円(牛乳除去の場合1,277円)

○3、4年生・・・3,560円(牛乳除去の場合2,287円)

○5、6年生・・・4,700円(牛乳除去の場合3,427円)

## 下校時刻

(2月～10月)

2月1日より下校時刻が16時30分になります。学校でも安全な下校の仕方や放課後の過ごし方について指導しますが、ご家庭においても、出かける時の約束や下校後の過ごし方についてもう一度確認していただきますようお願いいたします。

## 三学期始業式 1月7日

3学期が始まりました。始業式では校長先生より、3学期の意味や「明るい心」の大切さについて話がありました。3学期は登校日数が少ない中で、1年間の学習や生活を振り返る「まとめ」と、次の学年へ向けた「準備」を行う大切な学期です。子どもたちには、できるようになったことを自信につなげ、課題を見直しながら前向きに取り組んでほしいと伝えました。ご家庭でも成長や目標について話し合い、「なりたい自分」に近づけるよう共に支えていきたいと考えています。



## 音楽発表会 1月29日

音楽発表会が終わりました。子どもたちは、本当に一生懸命練習に取り組み、当日はこれまでの努力が伝わってくる、堂々とした発表を見せてくれました。一人一人が音やリズムを大切にしながら、友だちと心を合わせて演奏する姿に、大きな成長を感じることができました。この発表会を通して得た達成感や仲間と協力する大切さを、今後の学校生活にも生かしてほしいと思います。

